

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 21日は、高気圧が千島近海に移動し、東日本、西日本付近にのびる前線上を低気圧が東へ進む。
- 22日は、高気圧が千島近海をゆっくり東へ移動する。低気圧は日本の東に進み前線が奄美地方付近に南下する。
- 23日は、高気圧は千島の東へ移動し、華中付近から前線が西日本付近にのびる。
- 24日は、気圧の谷が日本付近を東へ進み、前線が東シナ海から本州の南岸にのびる。
- 25日は、低気圧が日本の東へ進み、低気圧から前線が日本の南にのびる。

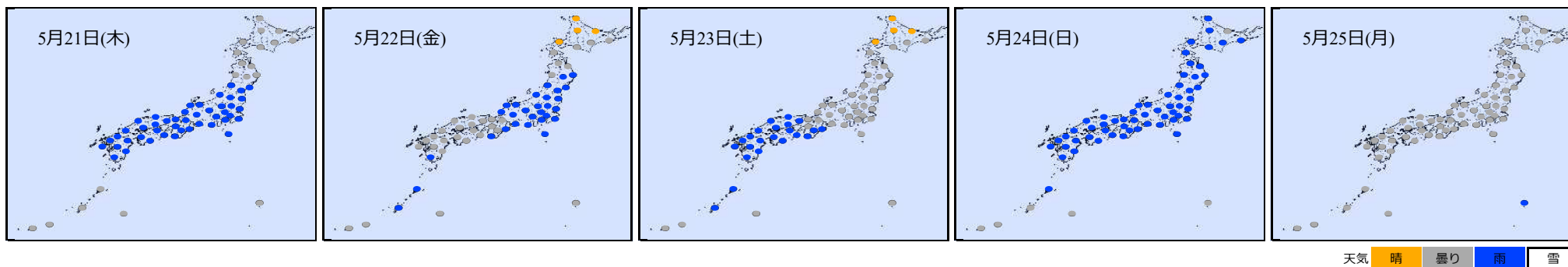
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

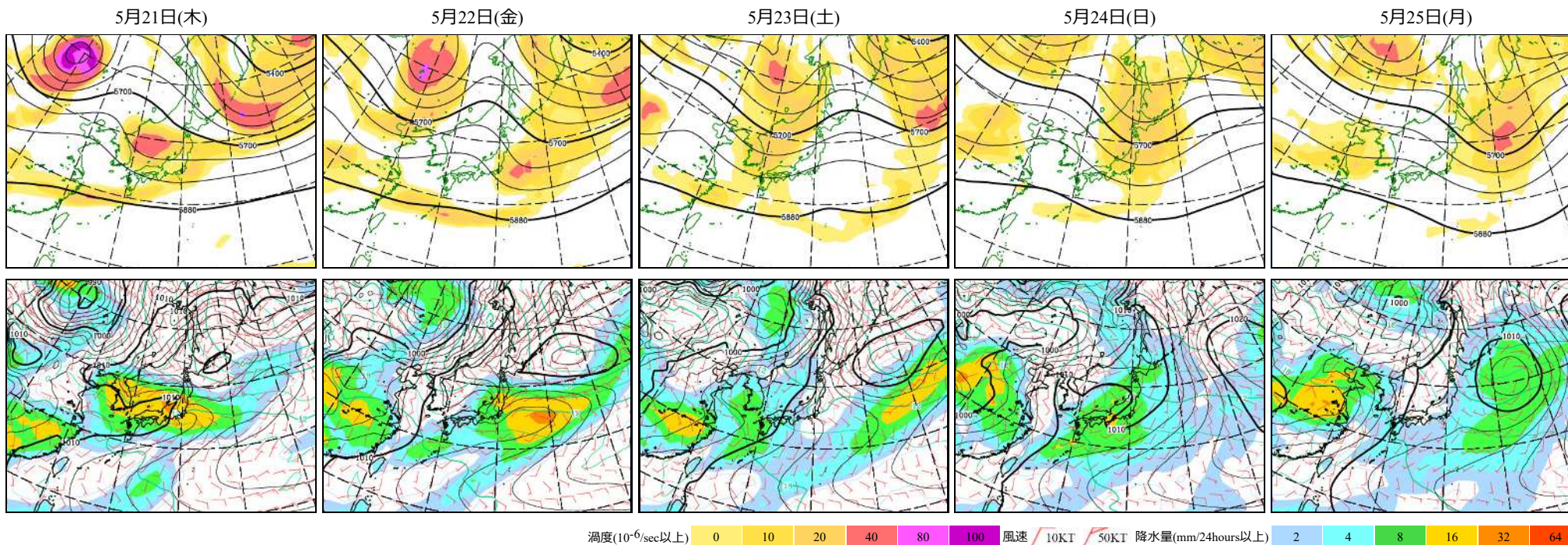
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

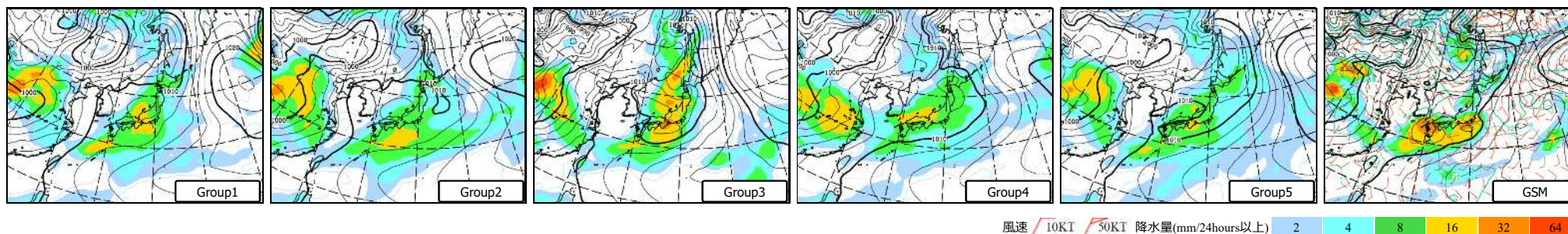


- 北海道地方は、曇りや晴れの日が多いが、24日は雨の降る所が多い。
- 東北地方、東日本、西日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、22日から24日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆5月24日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、21日から22日にかけて本州の南岸を東進する低気圧の進みが少し遅くなった一方、千島近海を東へ移動する高気圧の勢力が強まった。23日から24日にかけて日本付近を東へ進む気圧の谷の進みが早くなった。
- モデル間の差は22日までは小さいが、24日に日本付近を東へ進む低気圧の位置の違いが大きい。
- スプレッドは期間の終わりは大きく、特定高度線のばらつきも大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。